

*Lectan*



レオタックスの使い方



写真機を向けられると命が縮む...等と昔は云われたそうです。又  
つい先頃までは写真の撮影と云う事は特殊技術のように扱われて参  
りました。しかし現代では、何時でも何処でもカメラ、写真と云  
うものが、私達の生活に密接な繋りを持つて来ています。



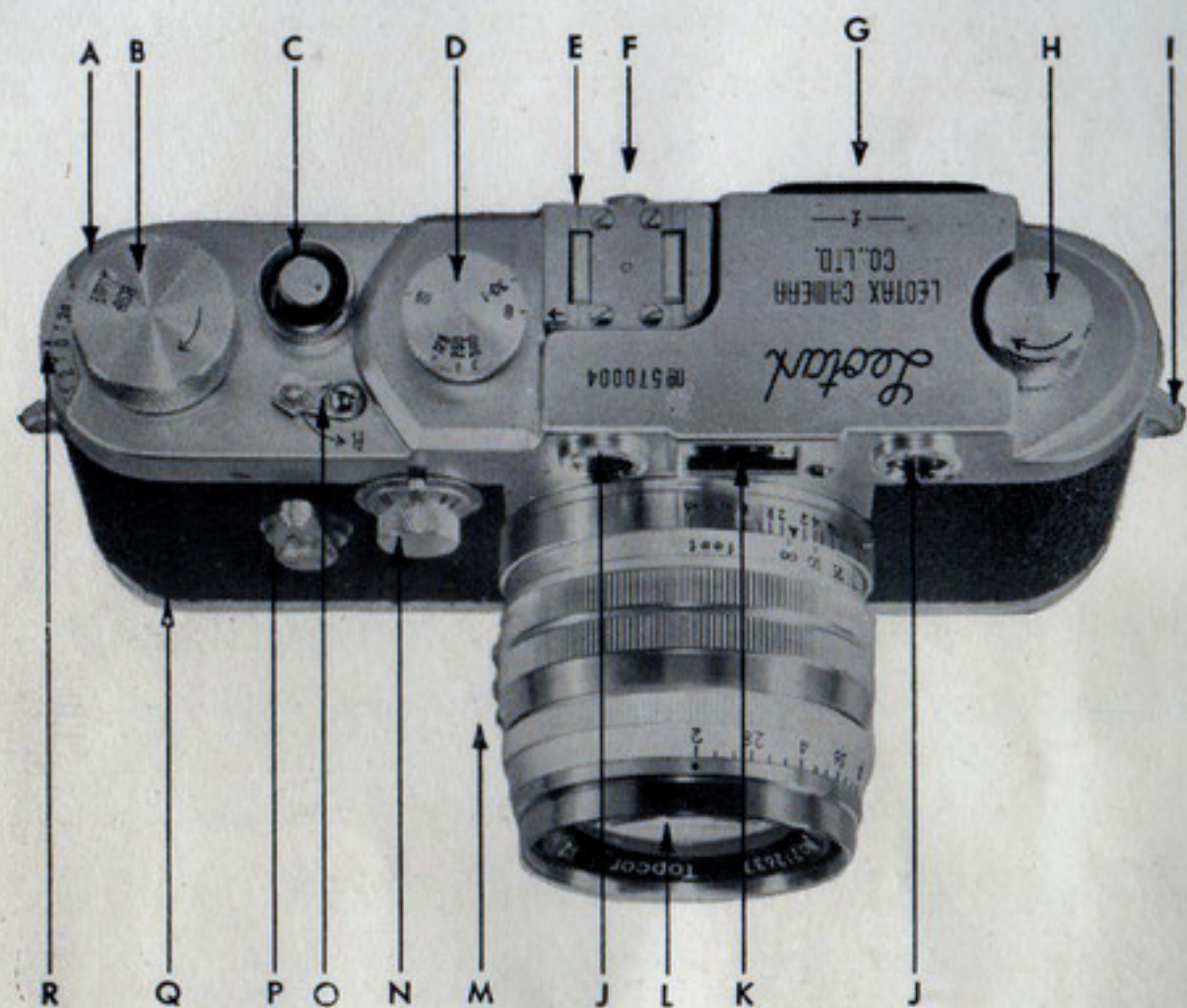
又、目的は色々ありましても、写真を撮ると云う事は単に写真を  
得る事に止らず、撮影する過程において広い視野、異つた視角から、  
私達の身近な物、遠い事を見直し、採入れて行く事も無意識ながら  
私達の生活を、より豊かなものにして行く事と信じます。レオタッ  
クスカメラは国の内外で製作される沢山のカメラの中の一つにすぎ  
ませんが、その中からお選び頂いた事は何か皆様とレオタックスカ  
メラとの間に見えないキズナがあつたようにも思えます。



このレオタックスカメラは色々な方にも、どの様な目的にも充分  
な働きが発揮出来るように、永い歴史と皆様の声を反映させ、作つ  
て参りました。カメラの使用法はもとよりカメラの構造に立脚した  
使用法が最もそのカメラの持つ性能を発揮させ得る訳ですが、御使  
いになる方々の性質や生活によつて自ら独自の技術が生れて参りま  
しょう。又、余りに撮影方法はこうしなくてはならぬ、ああしては  
ならない、では気軽にカメラを楽しむ事（カメリング？）がおっく  
うになりますでしょう。ですからハイクラスの技術を御持ちの方にも  
始めてレオタックスカメラを持たれる方にも楽しく、又、フルに  
使つて戴く為に最も基本的なこの説明書を読んでいただき、そして  
皆様独特の技術を生んで下さいますように。







### レオタックス TV 型各部名称

- |   |                                |   |                              |
|---|--------------------------------|---|------------------------------|
| A | フィルムインデケーター                    | J | 距離計対物レンズ                     |
| B | 捲取りノブ                          | K | ファインダー対物レンズ                  |
| C | シャッターボタン                       | L | レンズ                          |
| D | 高速度シャッターダイヤル (B, 1/30~1/500 秒) | M | レンズヘリコイドレバー                  |
| E | アクセサリークリップ                     | N | 低速度シャッターダイヤル (T, 1, ~1/30 秒) |
| F | シンクロターミナル                      | O | フィルム進行切換レバー                  |
| G | 距離計及びファインダー接眼レンズ               | P | セルフタイマーレバー                   |
| H | 捲戻しノブ                          | Q | 底蓋                           |
| I | ストラップ取付環                       | R | フィルム枚数計                      |

### 目次

	頁
☆レンズについて.....	6
☆フィルムの装填.....	7
(フィルム, マガジン, フィルムをマガジンに, マガジンをカメラに, フィルムインデケーター, フィルムの捲戻し)	
☆シャッター.....	11
(フィルム枚数計, B と T, セルフタイマー)	
☆絞について.....	13
(被写界深度, 赤外撮影, フィルム面指標)	
☆距離計とファインダーについて....	17
☆撮影.....	18
(シャッターを切る場合, フラッシュシンクロナイザー, 二重多重撮影)	
☆交換レンズ.....	23
(トポブリリアントファインダー)	
☆豆辞典.....	25
(カメラの保存, レンズ・フィルター・皮ケースの手入れ, 故障について, カメラの紛失, 盗難について)	
☆楽しい写真.....	29
(フィルムについて, アクセサリーについて, 家庭写真)	

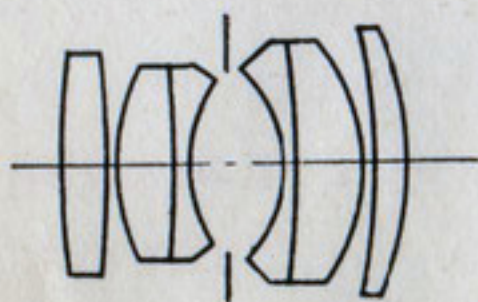




## レンズについて

トプコール-S F:2 f=5 cm

最近の写真レンズには、平面を鮮明に描写するだけでなく、立体を平面に写してその画面上に、立体を心地よく再現する縦深描写力が要求されてきました。このレンズは特にこの点に留意して新しく設計されたバランスの最も美しいレンズです。レンズは6枚4群構成で、稀元素を含む新種ガラスの採用により、従来ガウス型の欠点とされていた像面彎曲、フレアーを30%減少させて、中心から画面の隅部迄均一な解像力を有する像面特性の良好なレンズです。無限遠から最近距離迄全域にわたって、ライカ判レンズの標準性能とされているテッサー型に優る性能をもっています。



レンズ構成	6枚 4群
鏡筒	固定型直進式
最小絞(等間隔)	f:16
距離目盛	3.5~50 呎 ∞
包括角度	46°
最近接距離	3.5 呎
アタッチメントサイズ	ねぢ込み
フィルターシリーズ	40.5 mm
重量	240 グラム

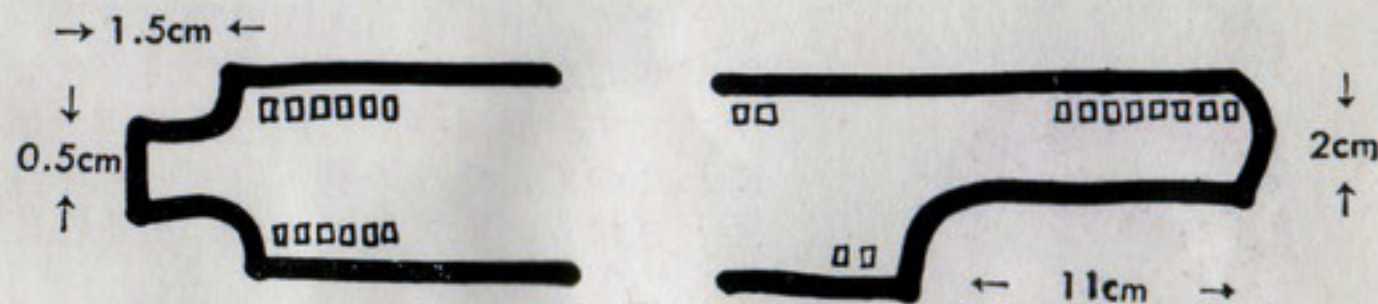
レンズを着脱する時はカメラをしっかりと保持して、外す時は時計の針の動く逆方向に廻し、装着する場合は一度矢印の方に軽く廻しますとネジがあいまずからそれから時計の廻る方向に止る迄しっかりと廻します。



## フィルムの填装

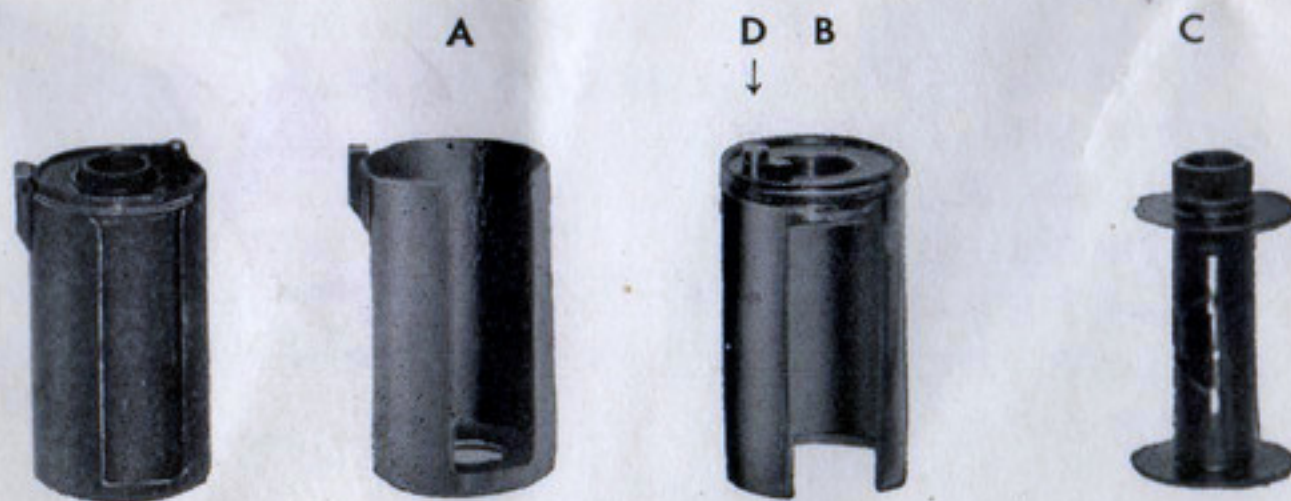
### ▷ フィルム

レオタックスカメラに使用する 35 mm フィルムは各種発売されておりますが、パトローネ入りのもの、罐入りの生フィルム、イージーローディングフィルムも使用可能です。36枚乃至20枚撮影用のもの以外の長尺フィルム御使用の場合は図のように両端を切つて下さい。



### ▷ マガジン

レオタックス専用マガジンは外筒 A, 内筒 B, スプール C からなっており、安全バネ D を押しながら上部を廻す事によつて A, B, C にわけられます。





## ▷ フィルムをマガジンに

生フィルムをマガジンに装填するには暗室で次の仕事をせねばなりません。が馴れぬうちはフィルムに指紋や傷を付けがちですから充分練習して下さい。

底蓋の開閉鍵をおこし OPEN の方向に廻して引上げますと底蓋が外れ、左右にマガジンと捲取りスプールが入っています。



(イ) 安全バネを押して右の方にスプールの廻しますと外筒と内筒の窓が合つて三つにわけられます。



(ロ) スプールの右手にもち必らずつまみを手前に向けます。フィルムのまいてある外側の方を手前にむけてV型に切つた方をスプールの挿入口からさしこみます。



(ハ) フィルムの膜面を内側にして強く巻き、ゆるい時は内側に入らないこともあり、あとからまきしめるとフィルム面に傷がつきます。



(ニ) まきおわりましたらつまみの方から内筒に挿入します。なるべくフィルムにはさわらない方がよろしいです。

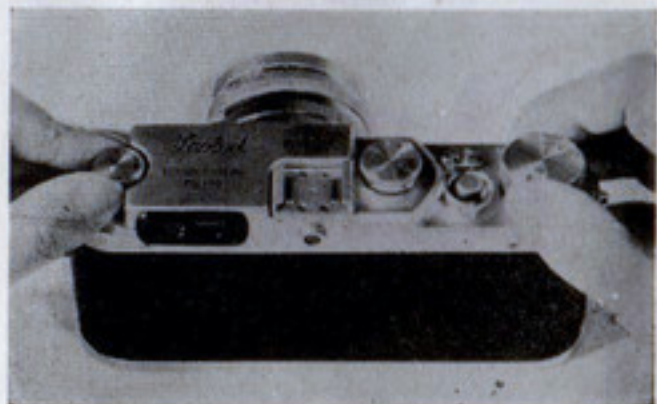
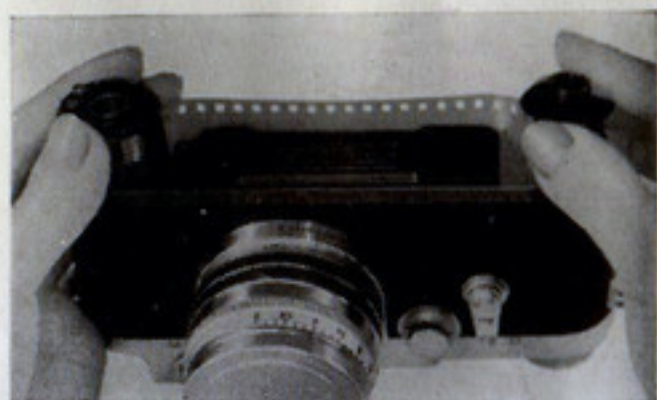
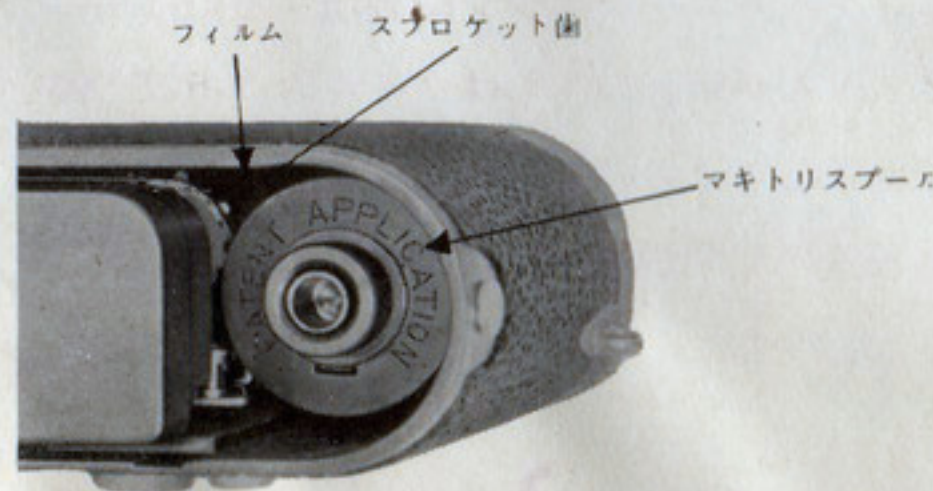


(ホ) 次に外筒に入れフィルム端を窓から少しひきだしたままつまみを左にカチンという所までまわします。ここで電気をつけても大丈夫です。

## ▷ マガジンをカメラに

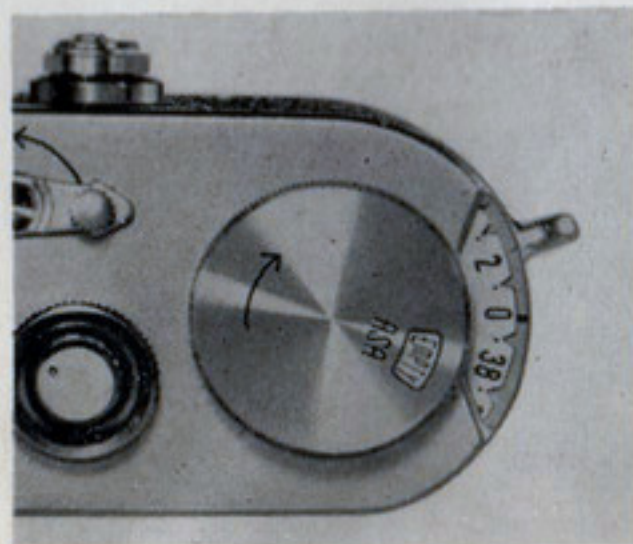
捲取りスプールのバネの下にフィルムの端を(膜面は手前に向けて)強く差込みます。次の図のように両手にマガジンと捲取りスプールを持ち同時にカメラに装填致します。マガジンが入らぬと

きは捲戻しノブを少し廻しますと入るようになります。切換レバーが A 印にあるのを確かめシャッターをおしてから捲取りノブを矢印の方向に捲上げながらフィルムの耳孔をスプロケットによくかみあわせ、底蓋をかぶせます。底蓋内部の突起がマガジン上部の安全バネを外し開閉鍵を LOCK 方向に廻すに従つてマガジンは内部で開きフィルムに傷つける事なく送られるわけです。巻戻しレバーを四番目の図のように矢印方向に静かに廻しフィルムの弛みをなくし、それからフィルムを捲上げシャッターを切り、これを二度繰返しますと感光してないフィルムが送られてきます。次に露出枚数計を矢印の方向に廻し 0 を指標に合せます。捲取ノブを廻しても捲戻しノブが廻らぬ時はフィルムが送られていませんから捲戻して装填し直さねばなりません。



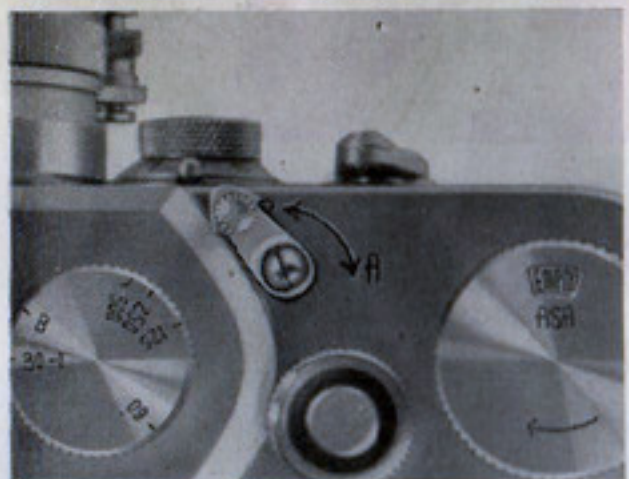
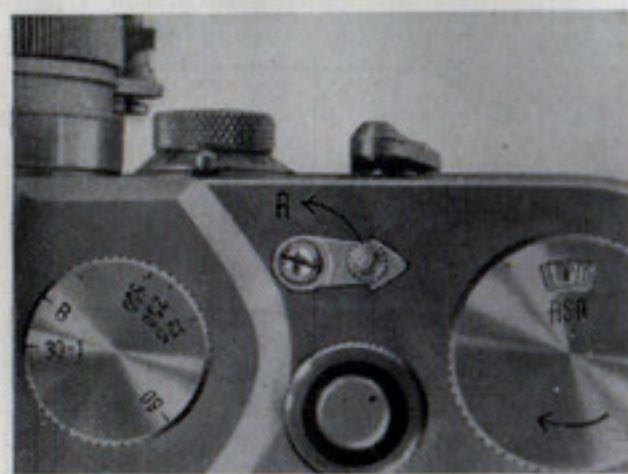


## ▷ フィルムインチケータ



フィルムの装填が終了しましたらそのフィルムの ASA 感度を捲取りノブ上部のフィルムインチケータにメモしておきます。多種のフィルムを使用する場合便利です。ノブを上方につまみあげ ASA の感度の所で落とし込みます。カラーは赤文字で記入されています。

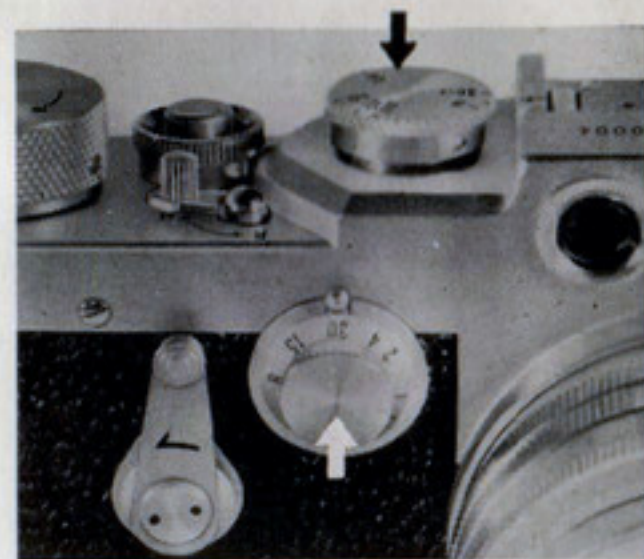
## ▷ フィルムの捲戻し



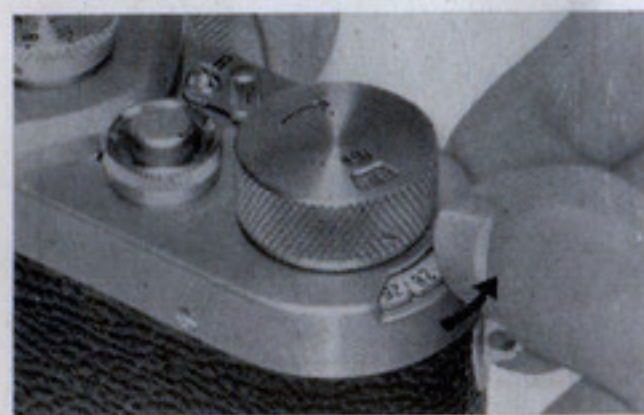
挿入フィルムの枚数以上に枚数計が進むか、捲取ノブが堅くなり捲取れなくなつた時は撮影が終了したのです。まず切換レバーを A 印から R 印に廻してから捲戻しノブを上部に持上げ矢印の方向に捲戻します。一枚捲戻す毎にシャッターボタン上部の黒マークが一廻転致します。捲戻しが終る時、スプールに差込んだフィルム端によつて少し抵抗があります。空まわりを感じましたならば切換レバーを A 印に戻して底蓋を開きます。

## シャッター

B (バルブ), 1/30, 1/60, 1/125, 1/250, 1/500 秒のシャッターダイヤルはカメラ上部に、T, 1, 1/2, 1/4, 1/8, 1/15 秒のシャッターダイヤルは前部についています。上部の高速シャッターはシャッターを捲上げてから、上部に持ちあげて指標にあわせて落とし込みます。高速シャッターを用いる時は低速シャッターは 1/30 秒の所において下さい。低速シャッターを用いる時は高速シャッターは 1/30 秒の所におきます。低速シャッターはクリック・ストップ式です。目盛りは T, B を除き、倍数系列に作られていますから、等間隔紋とあいまつて精密な露出が考えられましょう。ダイヤルの数字は分母を表わします。



## ▷ フィルム枚数計



フィルムの装填を終りました時矢印の方向に廻してフィルム枚数計を 0 にあわせフィルムを一枚捲上げる毎に一コマずつ目盛が動きます。

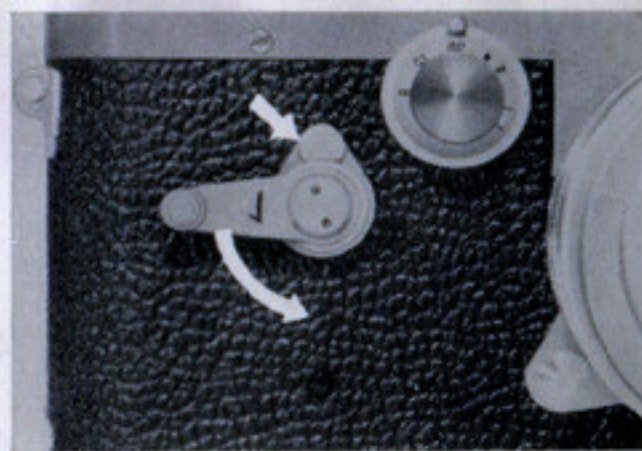


▷ B (バルブ) と T (タイム)

B の場合、低速度ダイヤルは 30 の所におき、高速度ダイヤルの B を指標にあわせます。B はシャッターボタンを押している間丈シャッターが開いています。T の場合、高速度ダイヤルは 30-1 の所におき、低速度ダイヤルの T を指標にあわせます。こうしてシャッターを切るとシャッターは開いたまま止ります。低速度ダイヤルの 30 を指標にあわせるよう廻転させるとシャッターは閉じます。B, T 共に顕微鏡写真、天体写真、夜景写真共に用いられます。

▷ セルフタイマー

シャッターを捲上げる前でも、捲上げたあとでも、カメラ前部にあるセルフタイマーレバーを 180° 矢印の方向に廻転させ (シャッターをセットして)、レバーのかげにあるスタートボタンを押しますと、約 10 秒の間隔をおいてシャッターが切れます。90° 以上ならばレバーの位置によつて時間を加減出来ます。



絞について

トプコール-S F/2 f=5cm 標準レンズには図のように種々目盛りがついています。絞目盛は下の表の様な関係になつています。シャッターの値と共にカメラに入る光量を加減します。下の表は絞 8 で 1/100 秒が適正露出だとしみますと、絞を 5.6 にした時は 1/200 秒のシャッタースピード、絞を 11 にした時は 1/50 秒のシャッタースピードが正しいと云う事を表しています。絞は又被写界深度 (焦点深度) を利用するのにも用いられます。



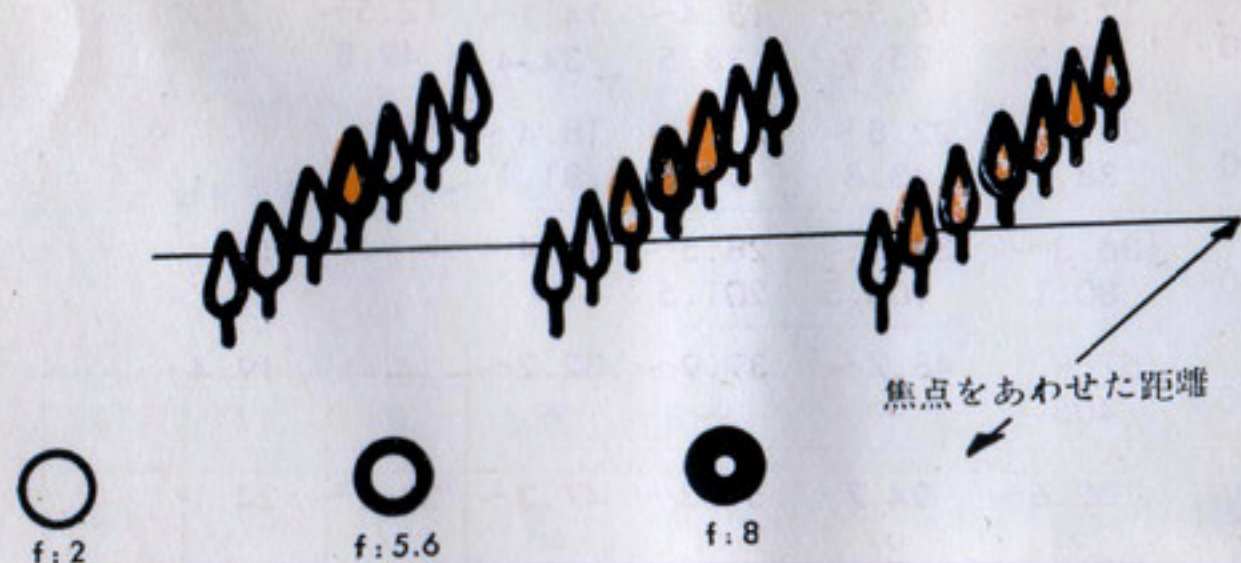
絞	2	2.8	4	5.6	8	11	16
露出比	1	2	4	8	16	32	64



### ▷ 被写界深度

被写界深度とは、引伸し写真の差支えない僅かなボケを無視すれば、焦点を合せた被写体より前後の或範囲は焦点が合っているということで、この範囲は絞を絞る程深くなります。之を利用して距離の違う被写体に同時に焦点をあわせたり、又不要のものをぼかしたり自由に選定致します。被写界深度はレンズの焦点距離によつて違います。焦点距離の短いもの程深く、長いもの程浅くなります。

下図の左端はレンズ解放で焦点を真中の木に合せた場合の被写界深度を色で表わしました。中央は焦点を同じ木にあわせ絞を 5.6 にした時の深度で、右端は同じく f:8 に絞つた場合です。図のように小絞な程深度は深くなりますが、この場合焦点を合わせた被写体より前方は後方に比べて浅い範囲になります。次頁の表をご覧になればわかります。しかし絞れば深度が深くなりピンボケの心配はなくなります。絞りますとシャッター速度を遅くせねばなりませんのでカメラブレをおこしやすくなります。又同一絞でも距離の違い程、被写界深度が深くなることも次頁の表でおわかりになります。



### ▷ トプコール S F/2 f=5 cm レンズ

被写界深度表 (単位 呎) 錯乱円 0.03 mm

絞	2	2.8	4	5.6	8	11	16
3.5	3.4~ 3.6	3.4~ 3.6	3.3~ 3.7	3.3~ 3.8	3.2~ 3.9	3.1~ 4.1	2.9~ 4.4
4	3.9~ 4.1	3.8~ 4.2	3.8~ 4.2	3.7~ 4.4	3.6~ 4.5	3.5~ 4.8	3.2~ 5.2
5	4.8~ 5.2	4.8~ 5.3	4.7~ 5.4	4.5~ 5.6	4.4~ 5.9	4.2~ 6.3	3.9~ 7.1
6	5.7~ 6.3	5.7~ 6.4	5.5~ 6.6	5.3~ 6.8	5.1~ 7.3	4.8~ 7.9	4.4~ 9.3
7	6.7~ 7.4	6.5~ 7.5	6.3~ 7.8	6.1~ 8.2	5.8~ 8.8	5.5~ 9.8	5.0~ 11.9
8	7.6~ 8.5	7.4~ 8.7	7.2~ 9.1	6.9~ 9.6	6.5~ 10.5	6.0~ 11.8	5.4~ 15.2
9	8.4~ 9.6	8.2~ 9.9	7.9~ 10.4	7.6~ 11.1	7.1~ 12.3	6.6~ 14.2	5.9~ 19.3
10	9.3~ 10.8	9.1~ 11.2	8.7~ 11.7	8.3~ 12.6	7.7~ 14.2	7.1~ 16.9	6.3~ 24.6
12	11.0~ 13.2	10.7~ 13.7	10.2~ 14.6	9.6~ 16.0	8.8~ 18.7	8.0~ 23.6	7.0~ 41.9
15	13.5~ 16.9	13.0~ 17.8	12.3~ 19.3	11.4~ 21.8	10.4~ 27.1	9.3~ 39.0	7.9~ 142.8
20	17.4~ 23.5	16.5~ 25.3	15.4~ 28.5	14.1~ 34.4	12.5~ 49.8	11.0~ 112.8	9.1~ ∞
30	24.5~ 38.7	22.8~ 43.8	20.7~ 54.6	18.4~ 81.1	15.8~ 300	13.4~ ∞	10.7~ ∞
50	36.3~ 80.1	32.8~ 105.5	28.5~ 201.5	24.4~ ∞	20.0~ ∞	16.4~ ∞	12.5~ ∞
100	57~ 405	48.7~ ∞	39.9~ ∞	32.2~ ∞	24.9~ ∞	19.4~ ∞	14.2~ ∞
∞	132.6~ ∞	94.7~ ∞	66.3~ ∞	47.3~ ∞	33.1~ ∞	24.1~ ∞	7.0~ ∞



## ▷ 赤外撮影



赤外フィルムと、赤外フィルターを使用することによつて赤外線写真が撮れます。この際、距離計で距離を合わせてからその目盛を被写界深度目盛中の R 記号の所迄ずらして合わせます。赤外線は不可視光線で普通焦点目盛とは屈折率の相違でずれが生じますので、そのずれを R 記号で匡正するわけです。

## ▷ フィルム面指標

カメラのレンズに刻まれた距離目盛は、すべてカメラ内部に装填されたフィルム面を基準として測つてあります。近接撮影、複写、その他の便宜の為に、レオタックスでは図の様に「f」のマークを刻みフィルム面を指示しています。



## 距離計とファインダーについて

レオタックスカメラは距離計接眼レンズとファインダー接眼レンズと別々になつている二眼式です。接眼部に向つて左側が距離計用の窓です。

レオタックスの距離計は、基線長 38.2 mm 倍率 1.5 倍 (実効基線長 58 mm) のプリズム式ですから望遠レンズの 135 mm に迄連動可能です。レンズは撮影レンズと同様ハードコーティングを施こした明るい光学系を持つて居ります。

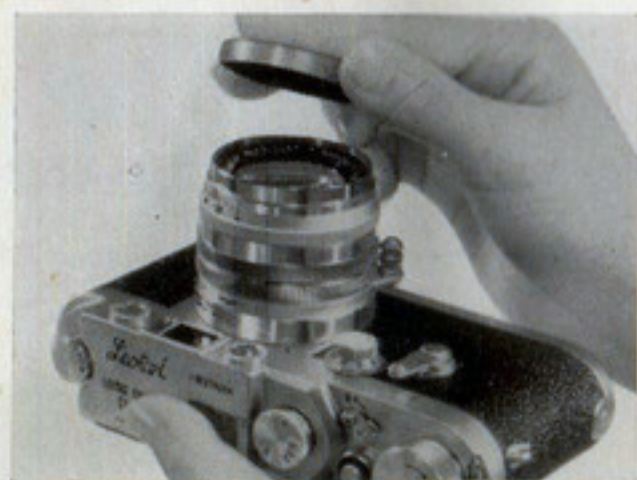
又距離計は前記被写界深度を利用する際、目的物の距離を正確に測る為にも用います。

距離計を使用するにはレンズのヘリコイドレバーを押しながら廻転させます。ヘリコイドレバーは無限遠でストップするようになっておりますからスタートの時は軽くカメラの方に押しします。ヘリコイドの伸長につれてカメラ内部のコロが連動して距離計を動かします。

ファインダーは光像式で内部のブライトラインは撮影画面の 90% を示します。

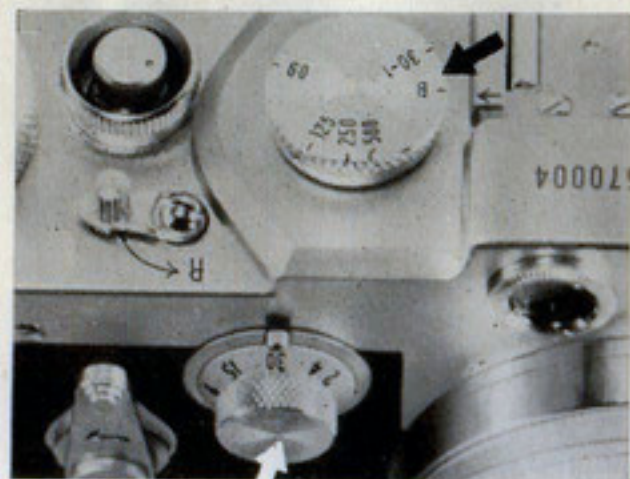






レンズキャップを  
外します。

シャッター(フィルム)  
を捲上げます。



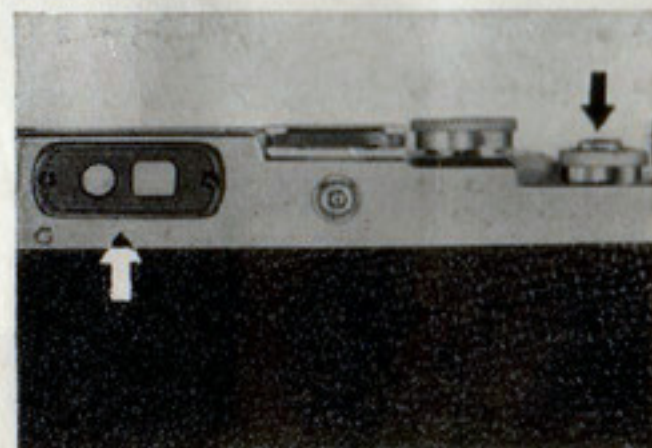
シャッタースピー  
ドを決定します。

絞値を指標に合せ  
ます。



ファインダーを覗いて、次に距離計  
で被写体にピントをあわせます。

再びファインダー窓で構図をきめ  
シャッターボタンを押します。



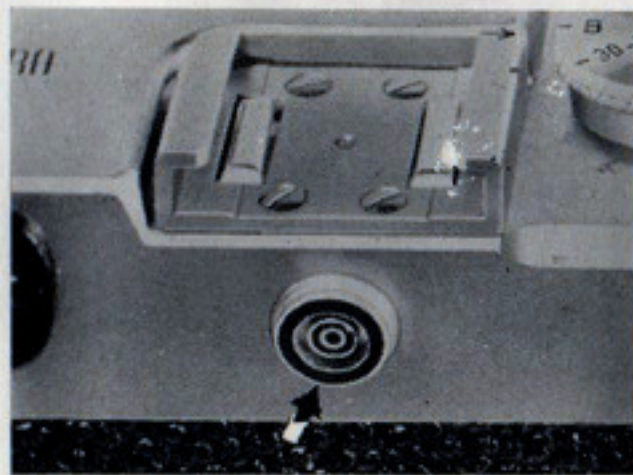
### ▷ シャッターを切る場合

横位置の時は人差し指、縦位置の時は拇指で押すのが普通です。他の指でカメラをしつかり保持して指の腹で軽くおさえる様にシャッターを切ります。低速度シャッターやバルブ露出の時は必ず速写ケースからカメラを取り出して、三脚に固定してケーブルリリースを使用すれば、カメラブレは防げます。ケーブルリリースはシャッター鉤の周囲のリングの間にねじ込みます。なおシャッター鉤を押す際は、シャッターダイヤルに指が触れぬようにします。





▷ フラッシュシンクロナイザー



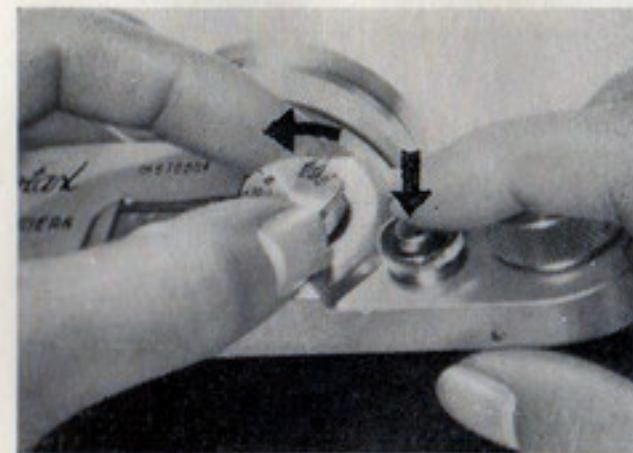
シンクロ撮影を行うにはコードを用いてガンとカメラを接続致しますがプラグはドイツ式になつております。レオタックスのフラッシュシンクロナイザーは内部でシャッターに同調致しますが1/60秒より早いシャッターを切る時はFP接点に、(目盛数字は黒) 1/30秒より遅いシャッターを切る時にはX接点に(目盛数字は緑色)と自動的に切換わりますからバルブの使用は下記の表を守つて下さい。

シャッター スピード	目盛 の色	自動切 換にな る接点	フラッシ ュバルブ
1/500~ 1/60 秒	黒	FP	FP 級 大型中型 小型
1/30 秒	緑	X	ストロボ F 級 M 級

接点のテストは高低速度共にシャッターを押し上げたのち、シャッターを押したままダイヤルを軽くおさえながらシャッターを切らせれば判ります。以上はテスター、又はフラッシュガンにテストランプをつけて行います。バルブを取付けたままシャッターを捲上げて安全スイッチにより発光の心配はありません。

▷ 二重・多重撮影

レオタックスは二重撮影が完全に防止されておりますが、モニタージュその他必要な場合は、一度撮影したフィルムを捲上げず、切れたまゝのシャッターを押しながら、高速度シャッターダイヤルを押しつけるように時計の針の逆方向に止る迄廻転させます。そうしてシャッターを切れば二重撮影が出来、これを繰返せば多重撮影も可能です。





## 交換レンズ

レオタックス TV 型には、ライカマウントのレンズはすべて交換可能で完全に連動致しますから被写体に依つて各種レンズを使用され充分な機能を発揮させて下さい。弊社では、定評ある東京光学のトプコールレンズ群の他に世界的水準を持つ富士フィルムのフジノンレンズを揃えております。

広角 (f=3.5cm)



標準 (f=5 cm)



望遠 (f=9cm)



望遠 (f=13.5cm)



	レンズ名	レンズ構成	包括角度	絞 (f)	倍率比	距離目盛 (ft.)	鏡筒	アタッチメント サイズ	備考
①	Topcor 35 mm f:2.8 広角レンズ	6 枚	64°	2.8~16 等間隔	0.7×	3.5~50 ∞	直進式	40.5 mm φ	特殊軽合金及び黄銅
②	Topcor S 50 mm f:2 標準レンズ	6 枚	46°	2~16 等間隔	1×	3.5~50 ∞	フ	40.5 mm φ	フ
③	Fujinon L 50 mm f:2 フ	6 枚	45°	2~22 等間隔	1×	3.5~50 ∞	フ	43 mm φ	フ
④	Topcor 50 mm f:2.8 フ	5 枚	46°	2.8~22 等間隔	1×	3.5~50 ∞	超転式	36 mm φ	フ
⑤	Fujinon L 50 mm f:2.8 フ	5 枚	46°	2.8~22 等間隔	1×	3.5~50 ∞	フ	40.5 mm φ	フ
⑥	Topcor 90 mm f:3.5 長焦点レンズ	3 枚	27°	3.5~22	1.8×	3.5~100 ∞	フ	34 mm φ	フ
⑦	Topcor 135 mm f:3.5 望遠レンズ	4 枚	18°	3.5~22 等間隔	2.7×	5 ~200 ∞	フ	46 mm φ	フ





## ▷ トブコブリリアントファインダー



(A)



(B)

レンズが大口径になるに従い、フード、フィルターをつけると、ファインダーが非常に見にくくなります。そこで考えられたものがこのアルパタファインダーです。等倍の大きさと明るい視野の中に(A)は50ミリ用、35ミリ用のワクが、(B)は50ミリ用、90ミリ用、135ミリ用のワクが見えます。御使いになつてその便利さと快適さに一驚なさると思います。

(A) 50ミリ、35ミリ用

(B) 50ミリ、90ミリ、135ミリ用



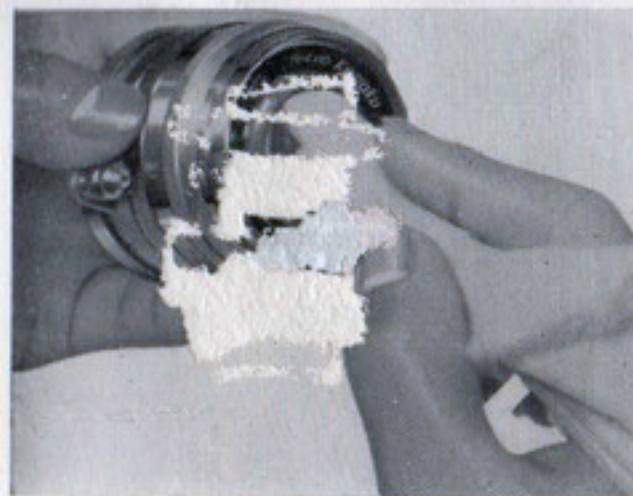
## 豆 辞 典

### ▷ カメラの保存

カメラは精密機械ですので、湿気や埃を嫌いますから、御使用に充分気をつけて戴くと共に、御使用外の時もシリカゲルと共にしまわれる等御注意下されば、永久によい仕事の友となる事でしょう。

### ▷ レンズ、フィルター、皮ケースの手入れ

レンズは精巧な構成ですから取扱いに、充分な御注意が必要です。打ちつけたり、落したりすることは絶対にせぬように気をつけて下さい。又湿気や埃はレンズの大敵ですから撮影時以外はレンズキャップをかけて置きます。又常に埃よけにUVフィルターをはめる方もありますが、フィルターはレンズの一種ですから、これに埃や傷がついては何の効果も無いこととなります。フィルターは感色性を整える為のもので、それ以外には使用されない方がよいと思います。



一刻の楽しい撮影が済みましたらレンズ及びファインダー窓、フィルター等を充分御手入れになることです。これにはよく洗つて脂気と石鹼分を除いた晒木綿の布か、レンズ刷毛を使用致します。



先ず表面の埃を払い落とし、次に割箸の様な細い棒の先に晒木綿を巻きつけて、レンズの周辺から中心に向けて渦巻型に清拭します。その際市販のレンズクリーナー、又はアルコール3、エーテル7、の混合液（湿度等の変化によつて比率は多少異なります）等をお使いになると一層便利で綺麗になります。最初馴れないうちは拭きむらが残りますからその点御留意下さい。レンズキャップの内面も良くごみを払い、キャップを冠せて乾燥した所に置きます。又梅雨期のような湿気の多い時は速写ケースからカメラを取はずし、別にしておくことです。ケースは湿気を呼びやすく黴の生え易いものですから別に皮革製品としての御手入れが必要です。

## ▷ 故障について



カメラをお買上げいただきますと愛用者カードが入っております。このカードに御記入の上本社宛御返送いただきますと、係が整理ののち保証カードを御手元に御送り致します。保証カードを御返しただければ普通に取扱われておこりました故障は無料にて修理致します。なおカメラが故障をおこした場合、お買上の店を通じて、又直接本社、出張所宛お届けいただければ早急に修理致します。

故障の種類は種々ありますが、比較的多いことは衝撃による距離計の狂い、フィルム装填の不完全から、フィルムスプロケット穴が切れ、フィルム層がカメラ内部に残り、捲上げの際、ひつかかつたり、傷をつけたりする事及びそこから起るシャッターの不調が多いようです。

暑熱、耐寒、振動試験も行つておりますが、温度の急変する場合、冬季例えば、山小屋の燃えさかるストーブの傍から、屋外のマイナス何度の中に、と云うような極端な時にはシャッタースピードが不調になる場合や、カメラ内部、レンズ内部と外気との温度差からレンズやファインダーが曇る場合も有りますから御注意下さい。同じ意味で、夏季は、長時間、太陽の直射下に置く事もカメラにとつてよくありませんし、皮ケースやレンズキャップなしで肩からカメラ



を下げていて知らぬうちにレンズが太陽にむいている場合など往々にしてありますが、御存知のようにレンズはフィルム面に焦点を結ぶように作られておりますから、フォーカルプレーンの幕に焼こげを作り、原因不明の光線もれと云う事になります。

海水につけた場合などは、なるべく早く、水洗し、ベンチン、シンナー等に漬け、カメラ店か本社宛御届け下さい。海水に直接おちないでも、潮風に長時間当たつた時や、雨の日の撮影のあとはよく御手入れいただきませんと思わぬ錆や、レンズにカビ等が生じます。但し油類は使わないで下さい。



#### ▷ カメラの紛失、盗難について

カメラの紛失、盗難の場合は警察に届けられると共に、御買上の店に至急連絡されると材料商組合内の連絡網で発見出来る場合も多いようです。そうした万一の場合の為に、貯金通帳、時計の番号と共にボディナンバー、レンズナンバー等をメモなさるとよいと思います。

## 楽しい写真

カメラ君との楽しい生活、気のアつた仕事を100%なさる為には種々の知識や技術が必要となりますが、今更ここで申上げる迄もなく、皆様はマスターしていただける事と思えますから、ここでは幼稚ですが身近な楽しみ方や変つた撮り方を考えてみました。

#### ▷ フィルムについて

フィルムの種類は非常に多いのですが、感光度の事、粒子の事、特殊フィルムの事(赤外フィルム、ポジフィルム、コピーフィルム)等を被写体にあわせて御使いになる事は、よい結果を生むもとですが、考えを変えて、全然被写体に合ったフィルムをお使いになる事も、異なつた興味ある写真が生めまじょう。カラーフィルムの場合も、被写体の持つ美しさを再現する事と別に、カラーフィルム丈の持つ現実と違う色の世界での色彩効果を考えた写真も美しい芸術品となり得ると思えます。又、自家現像の出来る内式ポジフィルムの場合は、その操作上での種々の技術で幻想的な変化のあるカラー写真も得られます。

#### ▷ アクセサリーについて

アクセサリーはおもちでなくとも良い写真が撮れますが、アクセサリーを自由に駆使する事によつてより素晴らしい作品を生めると思えます。



写真の何より目的に叶った、写真らしい写真は、スナップ写真と記念写真とと思います。記念写真と申しましても、写真スタジオでお撮りになる写真と異なるのは勿論、むしろもつと暖かな、もつと自由な、もつと本当の意味で記念になる写真のことです。愛する人々、なつかしい風景——それを貴方の心で撮っていただきたいと思えます。アルバムにお貼りになるだけでなく、御便りのかわりに、クリスマスカードに、その他、カメラの働く仕事は沢山あるような気が致します。又撮影から印画紙迄の間の D,P,E, を御自分でなさる面白さも、(写真屋さんには知られるかも知れませんが) 又格別です。失敗から新しいアイデアが生まれ、ハイキー、ローキーからソラリゼーション、ペンデュラム、レチキューション、レリーズフオート、デフォルメーション、モンタージュ等の技術も決して難しいものではないようです。

又、撮影されたネガは手数でも密着を必ず作られと共に整理してしまつておかれる事をおすすめ致します。

最後に、レオタックスカメラを使われて、楽しかった話題、困られた事、その他感じられた事等を、御遠慮なく、当社宣伝課迄御寄せいただくよう御願ひ申し上げます。

レオタックス各型、交換レンズ、アクセサリ等、詳細を御知りになりたい方は、下記の住所に御知らせ下されば、カタログを御送付申し上げます。



## レオタックスカメラ株式会社

本社・工場 東京都葛飾区新宿町 4-919 (7L 係)  
電話 葛飾 (69) 2543・3717  
銀座出張所 東京都中央区銀座東 8-1 (丹羽ビル) (7L 係)  
電話 (54) 5751~5・8286





**レオタックカメラ株式会社**